

# 伊集院保健所感染症情報

2026年第5週（令和8年1月26日～令和8年2月1日）

【お問い合わせ先】 ☎899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

## 定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ， 伝染性紅斑  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID），小児科1，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第2週	第3週	第4週	第5週	先週からの増減	第4週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	89.00	79.00	119.00	159.00	↗	87.79	↗
インフルエンザ	30	10	10	26.50	21.50	12.00	54.50	↗	35.19	↗
COVID-19	—	—	—	1.00	0.00	0.00	0.50	↗	0.28	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	1.00	1.00	1.00	→	0.90	↗
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	8.00	9.00	9.00	9.00	→	3.81	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	2.00	11.00	9.00	11.00	↗	8.10	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.61	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	3.00	3.00	→	1.81	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.39	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	1.00	0.00	1.00	↗	1.32	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

## TOPIC

### 2月4日は風しんの日です

風しんは、風疹ウイルスに感染することで発熱や発疹、リンパ節の腫れなどが現れる疾患です。子どもが罹った場合は比較的軽症で済むことが多いですが、大人が罹った場合は症状が重くなることがあります。また、妊娠初期の妊婦さんが風しんウイルスに感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目・耳・心臓に障害が起こることがあり注意が必要です。

鹿児島県では、妊娠を希望する女性やその同居者等を対象とした風しん抗体検査を無料で実施しています。

（対象者）

- 1 妊娠を希望する女性
- 2 妊娠を希望する女性の配偶者などの同居者
- 3 抗体価が低い妊婦の配偶者などの同居者

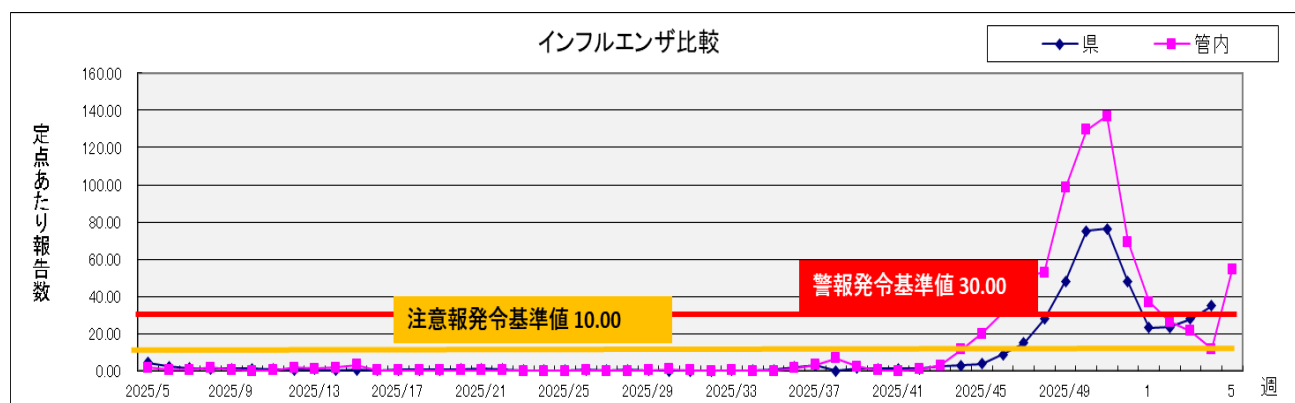
\*ただし、1～3の方で、過去に風疹に係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体があることが判明し、当該予防接種を受ける必要がないと認められる方は対象になりません。

詳しくは鹿児島県のホームページをご確認ください。→



## ● 注意すべき感染症

### ・インフルエンザ（流行発生警報発令中）



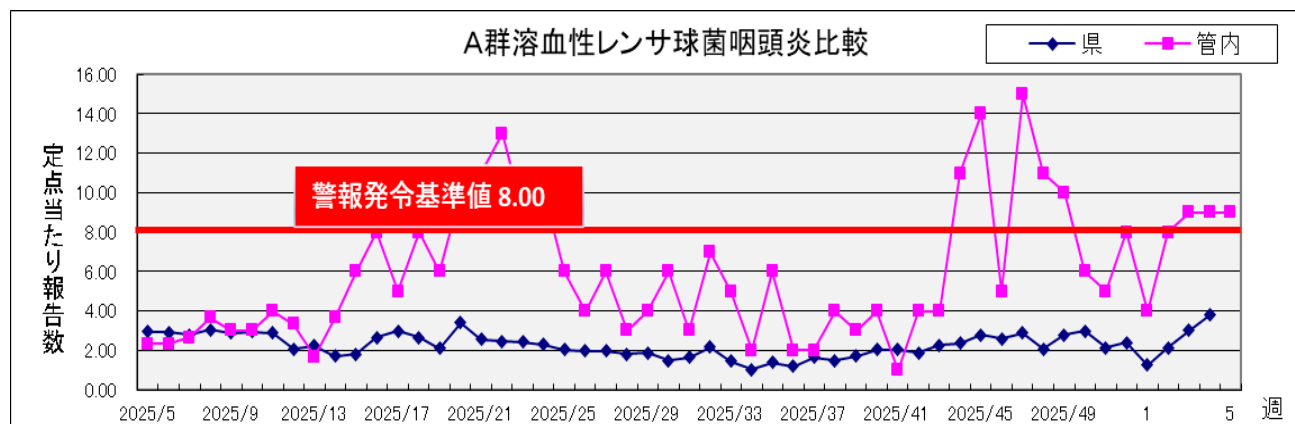
第5週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、4週の24人（定点当たり12.00）から85人多い、109人（定点当たり54.50）です。

年齢別の報告では、10～14歳（53人）、8歳（12人）、15～19歳（11人）、7歳（8人）、9歳（7人）、5歳（6人）、6歳（4人）、3歳・4歳（各3人）、6ヵ月～11ヵ月（1人）、1歳（1人）でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

### ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第5週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、9人でした。年齢別では、5歳（3人）、6歳（2人）、2歳・4歳・7歳・8歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

### ○学校における感染症による出席停止の状況 1/26～2/1（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが96人（型不明45人、A型1人、B型50人）、感染性胃腸炎4人、溶連菌感染症が1人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	インフル エンザB型	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症
日置市	17	0	24	2	1
いちき串木野市	28	1	26	2	0
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	45	1	50	4	1